

## ソーシャルファイナンスに学ぶ

サービス提供部門担当常務理事 有岡 正樹

CNCP 通信 19号 (27年11月) トピックスに NPO ファイナンス (1) 「助成金利用による教育研修機会」と題して寄稿したが、それを機会に NPO ファイナンス研究準備会を立ち上げるとの結論に達していたが、議論的的が絞れない等の諸事もあってその準備活動が具体化されず、この通信にも NPO ファイナンス (2) が半年も書かれないまま今日に至っている。

そんな悶々とした期間であっても講習会や WS 形式のセミナーなどに参加する機会も多くあり、終了した後名刺交換すると共に講演者と意見を交わすものの、シビル NPO に対して有用な意見を与えてくれるような議論に至ることができなかつたというのが背景にある。

ただ、そうした機会に知己を得た異分野の方々からいろいろな学習の機会を案内いただいたりする中で、2014 年の土木学会全国大会の研究討論会でパネラーとして協力いただいた大阪大学国際公共政策研究科山内直人教授が代表理事を務められる(一社)日本公共政策研究機構から、「ソーシャルファイナンス研究会」が動き出すことのご案内があった。その概要にはこれまで講演会などで勉強した「社会的インパクト債」、「社会的投資」、「クラウドファンディング」などといった新たなファンドレイジング手法が紹介されており、社会的企業や NPO 事業の資金調達をほぼ 1 年にわたって検討しようとする研究会に参加することになった。

以下の表は、NPO における資金調達手法の概念を図化したものである。筆者が知る限り、シビル NPO の多くは表中の青太字部分を適用しての資金繰りがせいぜいである。これまでも何回かシビル NPO 活動の課題をアンケート調査した際、ほとんどの法人が資金調達をその筆頭に上げていた。今も変わっていないと思う。

### NPOファイナンスの内訳

調達資金内訳	資金負担者			
	自己負担	支援者負担	行政負担 (政府系機関)	受益者負担
会費	<b>入会金 年会費</b>	<b>賛助会費</b>	NA	NA
寄付	<b>収支差額引当金 使途指定寄付</b>	一般寄付金(untided) 使途指定寄付(tided) クラウドファンディング	NA	地域・自助・共助負担
助成金・補助金	NA	<b>民間助成金・補助金</b>	補助金	NA
事業費収入	<b>事業化提案準備金 (リスクマネー)</b>	<b>研究会費 助成事業 クラウドファンディング</b>	助成事業	サービス対価 (利用料・会費等)
投融資	<b>立替払い未収金 (疑似)私募債 借入金(NPOバンク)</b>	(疑似)私募債	成果連動報酬 (SIB金利に充当)	(疑似)私募債

余談となるが、上表中の赤字記載部分は、往々にして理事長等法人幹部や発起人の個人負担となる。海外の知己に、略字 NPO を **Negative** Profit Organization と紹介して自嘲することもまれではない。社会貢献事業というと、ボランティアによって‘無から有を生む’打出の小槌との誤解があるが、社会的リターンを求めることがミッションであっても、事業に関わる収入と支出がバランスすることが前提の経済活動である。ソーシャルファイナンスの定義に沿って、せめて **Non-Profit** であることを目指したい。